

～日々の介護記録をもっと活用したい！とお考えの皆さまに～

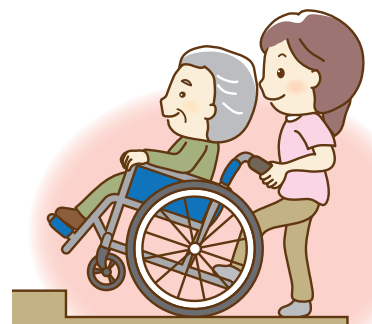
## 項目立てられた介護記録法を試行的に導入し、 介護記録の更なる活用に向けて一緒に検討し ていただける事業所・施設の方を募集します

介護現場では、提供したサービスを記録する「介護記録」が必須ですが、  
「何を書けば良いのか分からない」  
「どのように書けば良いのか分からない」  
「せっかく残した記録が、誰にも共有（活用）されない」  
といった声が現場職員から挙げられたことはありませんか？

利用者さんに向き合う時間を増やしたいのに、ただただ記録する時間と負担が増えていると感じたことはありませんか？

㈱日本能率協会総合研究所では、SOAP法、生活支援記録法（F-SOAIIP）、簡易項目化した経時記録法を試行的に導入したい介護事業所・施設を募集しています。これらの項目立てられた介護記録法を導入することで、介護記録の更なる活用につなげられないか、実際の導入過程を通して一緒に考えてみませんか。本調査研究事業によって明らかになった課題や工夫点は導入マニュアルとしてとりまとめ、広くそのノウハウを周知していく予定です。

皆さまからのご応募をお待ちしております。



※本調査研究事業は、令和2年度老人保健健康増進等事業（厚生労働省）に採択いただき、実施するものです

### ◆令和2年度老人保健健康増進等事業「介護記録法の標準化調査研究事業」の背景・目的

介護の現場で必要とされる記録類には、介護記録、ケアプラン、個別援助計画書など複数種類がありますが、このうち日々のケアを記録する介護記録については、その他の記録と比較して記録法の標準化が進んでいないとの指摘があります。令和元年度老健事業では、統一した介護記録法を使用している事業所・施設では、記載が冗長となり大事なポイントが分かりにくいとの指摘がある「経時記録」の使用が最も多く、項目立てられた介護記録法（SOAP法、生活支援記録法（F-SOAIIP）、フォーカスチャージングなど）のみを使用している事業所・施設は多くないことが明らかとなりました。

本事業では、特定の介護記録法を採用していない介護事業所等に対し、項目立てられた介護記録法を部分的に導入し、その導入過程における課題や導入による効果を把握するための試行調査を行い、導入マニュアルを作成することとしています。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社日本能率協会総合研究所 社会イノベーション研究事業本部

担当：政岡（マサオカ）、岡田（オカダ）

TEL：0120-506-713（平日10～17時） Email：q\_kaigo@jmar.co.jp Fax：03-3432-1837

# 募集要領

## 1. 試行調査概要

概要は下記のとおりです。詳細は、申込サイトをご確認ください。

### 対象サービス

通所介護、訪問介護、介護老人保健施設、介護老人福祉施設（ユニット型）、認知症対応型共同生活介護

### 導入する介護記録法

下記より1つを選択いただきます。

- ・ SOAP 法
- ・ 生活支援記録法（F-SOAIP）
- ・ 経時記録法の簡易項目化版

### 導入範囲

事業所（施設）全職員ではなく、1ユニット（フロア）、従業員のうち数名など、部分的な導入とする予定です。

### 試行調査の実施時期

2020年11月～2021年1月の3か月間

### 試行調査の流れ



## 2. 応募資格

現在、特定の記録法を導入しておらず、下記要件を全て満たす介護事業所・介護施設

- ①事業所（施設）内で、経営層・従事者層ともに試行調査に参加することの合意がとれている
  - ②集合研修に、教育担当者が参加できる
  - ③調査研究事業への協力ができる（研修への参加、導入前後・1カ月に1回程度の定点アンケート等
- ※詳細は申込サイトをご確認ください

## 3. 選定数

全国・全サービスで、計12事業所・施設を予定しています。  
本調査研究事業で設置している検討委員会委員による検討のうえ、選定します。

## 4. 募集期間

2020年9月18日（金）～2020年10月16日（金）  
※試行調査は、2020年11月～2021年1月までの3か月間の実施です

## 5. 応募方法

下記の申込サイトより申込用紙をダウンロードしてください。必要事項を記入いただき、事務局までメールにてお申込みください。

<申込サイトはこちら>

<https://jmar-llg.jp/record/>

